

土壌地下水汚染調査 エコマシン

近年、土壌・地下水汚染は重大な社会問題として注目されています。その土地がどのように使われてきたのか、化学物質で汚染されていないか。改正土壌汚染対策法では、そういった心配を解消するために、ガソリンスタンドや病院・工場など薬品や化学製品を扱っていた建物があった土地を取引する際には調査が義務づけられるなど、環境調査へのニーズが高まっています。

そのニーズにお応えするため、弊社ではYBM社製の土壌地下水汚染調査機「Eco-1V II」（通称：エコマシン）を導入いたしました。バイプロドリルで低騒音かつ迅速な調査を行えるのが特徴です。

土壌・地下水汚染調査はもちろん、観測孔掘削やメッシュ調査、河川堤防等の浅層サンプリングなどでも力を発揮します。ご用命いただければ幸いです。

低騒音急速削孔
土壌地下水汚染調査

ECO-1V II



<仕様>

- 重量：1,950kg
寸法：幅980mm×奥行2,940mm×高さ2,440mm（運搬時）

<ドリフタ>

- 起振力：20 kN（空運転時）
- 回転数：27 min⁻¹（最大） ●回転トルク：1.22 kN-m

<フィード>

- 最大給圧力：35.4 kN ●最大引抜き力：53.7kN
- フィードストローク：1,400mm

※（株）ワイビーエム社 製品パンフレットより資料転載

静か！速い！正確！の3拍子

バイプロドリルを搭載することにより、打撃式削孔機と同等の削孔速度を実現しました。なおかつ、打撃式とは異なり、金属の打込音が発生しないため、住宅地では気になる騒音も大幅に低減しております。

環境調査に自信の2つの理由！

無水で削孔しますので、作業水（泥水）により汚染物質が拡散するおそれがありません。

また、ロータリー式ボーリングとは異なり、バイプロドリルの振動でケーシングパイプを挿入しつつ掘削していくため、摩擦による発熱を抑えてサンプリングを行うことができます。

熱に弱い揮発性有機化合物の調査も正確に行うことが可能です。

ちょこっと移動の大きなメリット

軽量小型なので4 t車にそのまま載せることができ、また、足場仮設を必要としないため資材も少なく、搬入搬出に時間がかかりません。加えて、拡巾式クローラも備わっており、大型車が入れない狭隘地や密集した住宅地でも自走して乗り込めます。

また、同じ敷地内で一定間隔でサンプリングするようなメッシュ調査にも力を発揮します。

抜群のコア採取率

砂礫層でも回転なしで貫入していくため、1～7 m程度の深度ならば迅速かつ正確に、抜群のコア採取率を誇ります。

標準貫入試験もこれ1台で!!

付属オプションの標準貫入試験もセットで備えていますので、1台で掘削から標準貫入試験まで対応することが可能です。

作業風景

<自走中>

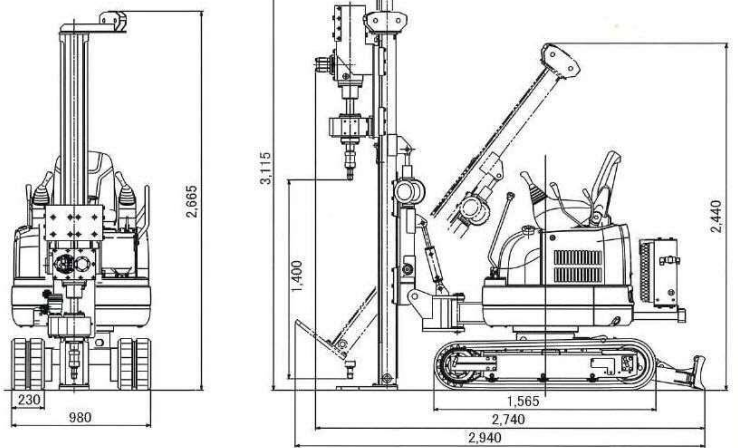


<サンプリング作業>



<標準貫入試験>

■ 外観・寸法



ご提案

◆病院・ガソリンスタンド・クリーニング店・工場等の地歴調査に

化学薬品や石油製品などを業務で扱っていた建物を解体し、跡地を売却するときには、土壤汚染対策法に基づいた環境調査が義務づけられています。

◆河川堤防や文化財の調査に

自走できますので、河川堤防や文化財調査の表層の土質確認に適しています。

◆簡易な支持力調査に

標準貫入試験も実施できますので、浅い深度の支持力を把握する宅盤調査にも適しています。

◆グラウト現場の効果確認に

自走できるのでメッシュ調査への適応性が高く、グラウト工事の効果確認調査等でも力を発揮します。

「土壌地下水汚染調査 エコマシン」について、ご質問等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

ヤシマ カイハツ
八洲開発株式会社

〒862-0920 熊本県熊本市東区月出1-1-52
TEL:096-384-3225 FAX:096-382-7039
URL:<http://www.yashima-geo.co.jp>